

第7章

分析支援プログラム による分析

(質問紙調査とのクロス集計結果より)

「分析支援プログラム」を使って、児童生徒質問紙調査から見られる傾向を分析しました。また、教科に関する調査のデータも合わせて分析しました。

各学校においても自校の結果を分析し、研究成果の検証などにご活用ください。



「自己肯定感」と「挑戦への意欲」分析と傾向

【概要】

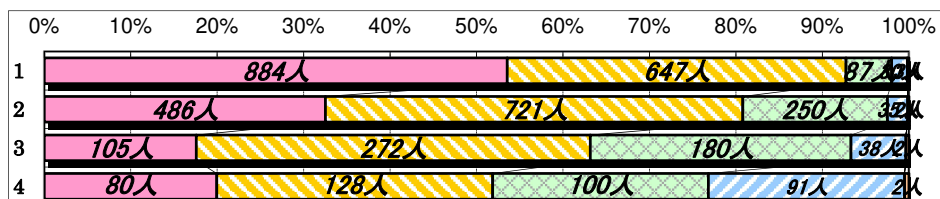
自分にはよいところがあると「思う」児童生徒ほど、「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答する傾向が見られた。また、「思わない」と回答した児童生徒は、「挑戦していない」と回答している傾向が見られることから、自己肯定感が挑戦への意欲につながっていると考えられる。

縦軸カテゴリー	自分には、よいところがあると思いますか。
横軸カテゴリー	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

横軸カテゴリー → している どちらかといえば、している どちらかといえば、していない していない
 縦軸カテゴリー ↓

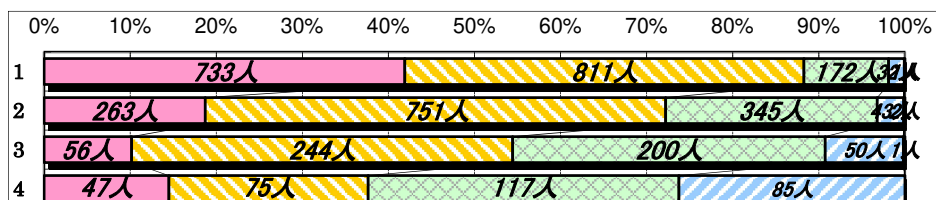
【小学4年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



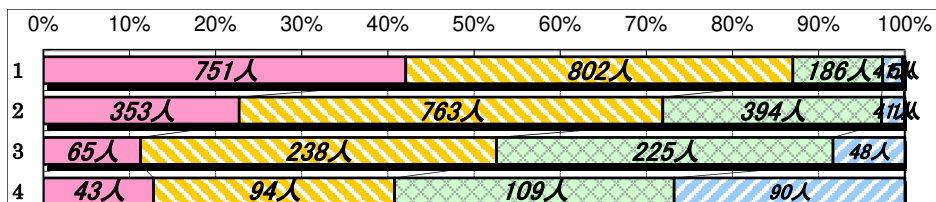
【小学5年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



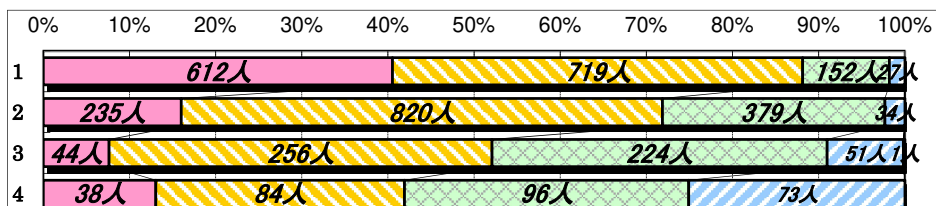
【小学6年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



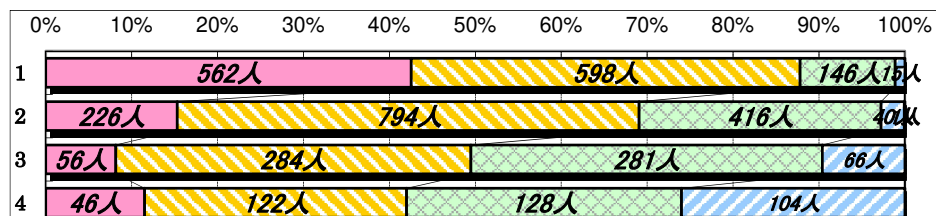
【中学1年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



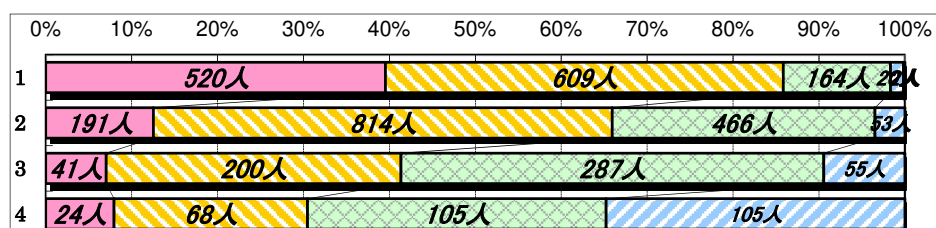
【中学2年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



【中学3年】

- 1 思う
- 2 どちらかといえば、思う。
- 3 どちらかといえば、思わない。
- 4 思わない。



「学級の雰囲気」と「学習の様子」分析と傾向

【概要】

「学級の生活が楽しかった」と回答した児童生徒ほど、学級は「落ち着いて学習する様子であった」と捉えている傾向が見られた。また、「学級での生活が楽しくなかった」と回答した児童生徒の半数は、「落ち着いて学習する様子ではなかった」と捉えており、落ち着いて学習できる環境があることが、学級での生活の楽しさにつながっていると考えられる。

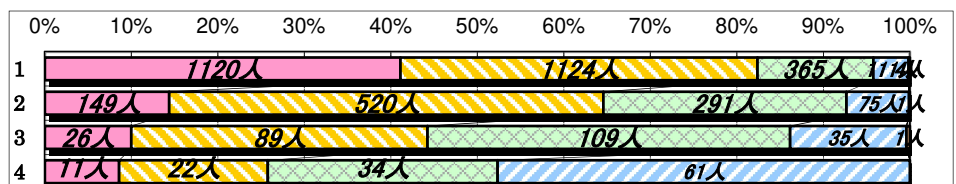
縦軸カテゴリー	昨年、学級での生活は楽しかったですか。
横軸カテゴリー	昨年、学級は落ち着いて学習する様子でしたか。

横軸カテゴリー → そうだった どちらかといえばそうだった どちらかといえばそうではない そうではない

縦軸カテゴリー ↓

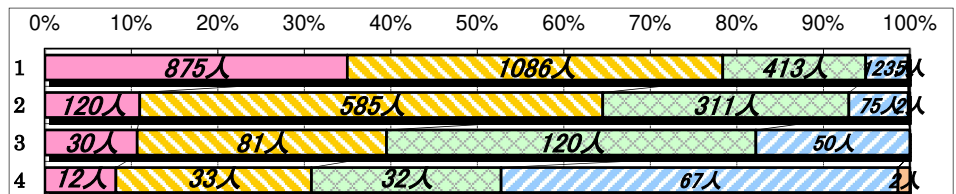
【小学4年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



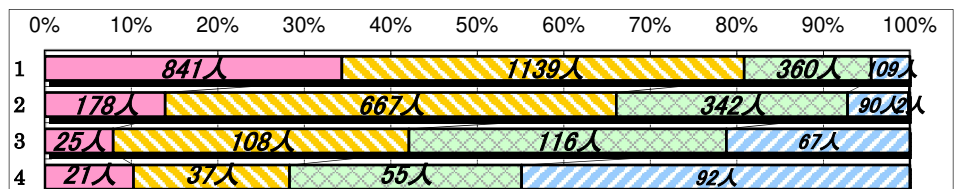
【小学5年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



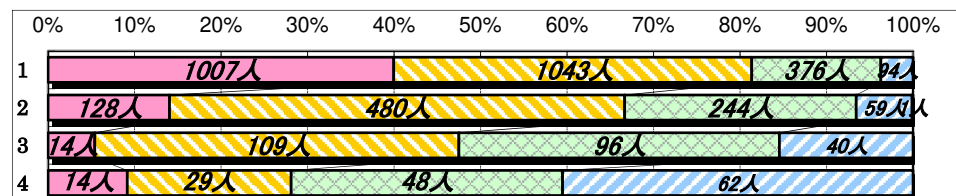
【小学6年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



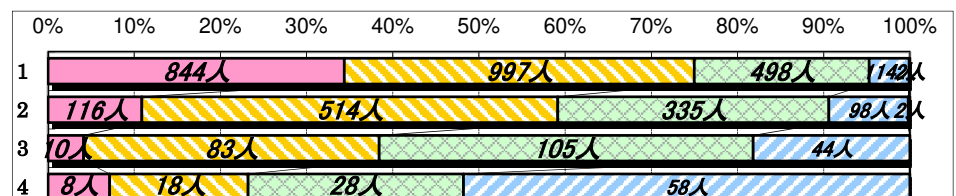
【中学1年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



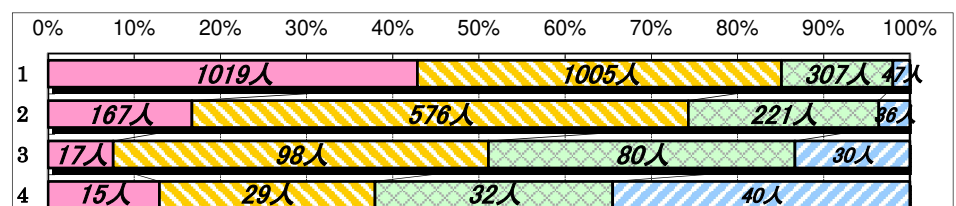
【中学2年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



【中学3年】

- 1 楽しかった
- 2 どちらかといえば楽しかった
- 3 どちらかといえば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった



「主体的・対話的で深い学び」と「学力（国語）」分析と傾向

【概要】

「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」の質問について、「よくあった」「ときどきあった」と肯定的な回答をした児童生徒の方が、比較的学力が高い傾向が見られた。

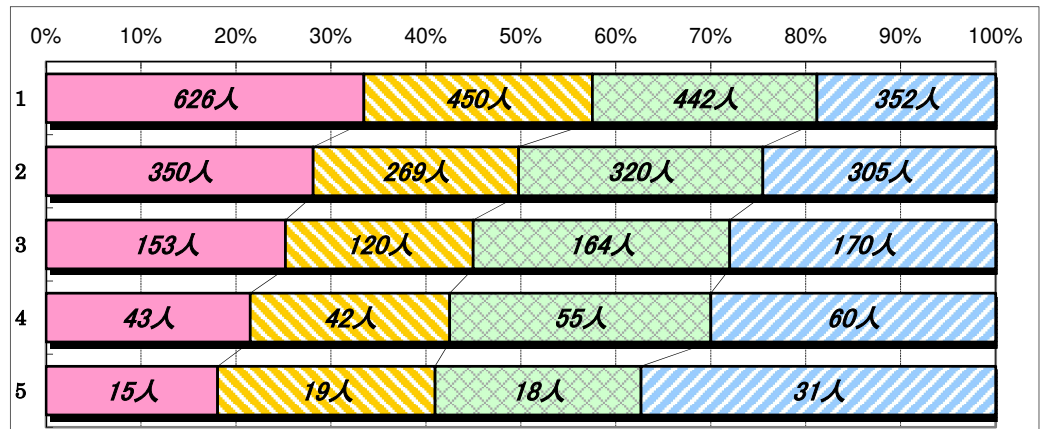
縦軸カテゴリー	グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと
横軸カテゴリー	学力階層 国語

横軸カテゴリー →
縦軸カテゴリー ↓

上位25%
 上位26-50%
 下位26-50%
 下位25%

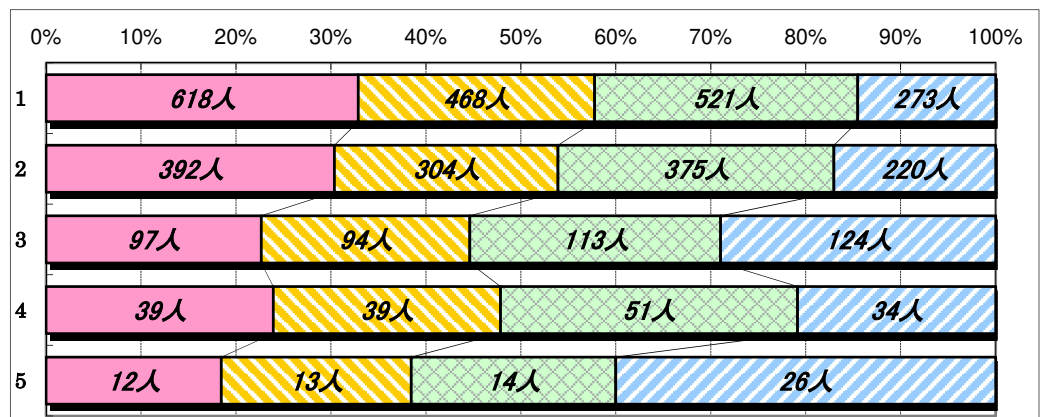
【小学5年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった



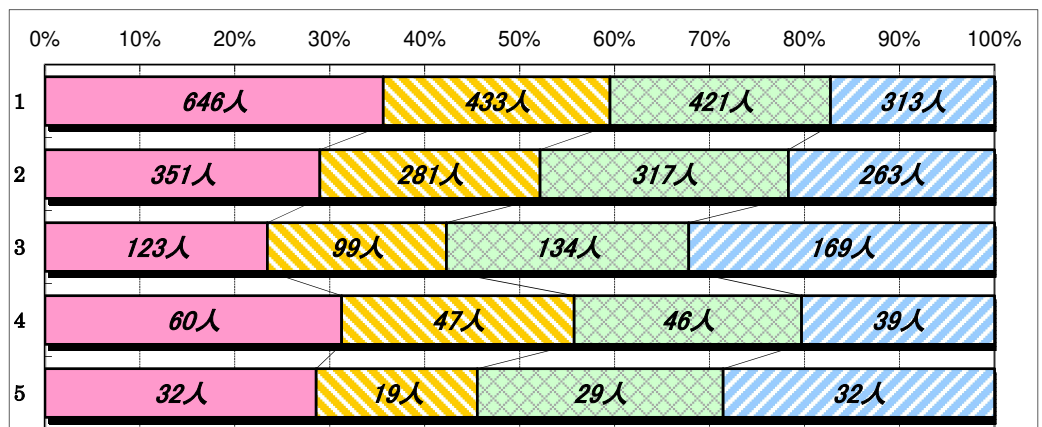
【中学1年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった



【中学2年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった



「主体的・対話的で深い学び」と「学力（算数・数学）」分析と傾向

【概要】

「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」の質問について、「よくあった」「ときどきあった」と肯定的な回答をした児童生徒の方が、比較的学力が高い傾向が見られる。この傾向は、「国語」「算数・数学」とも共通している。

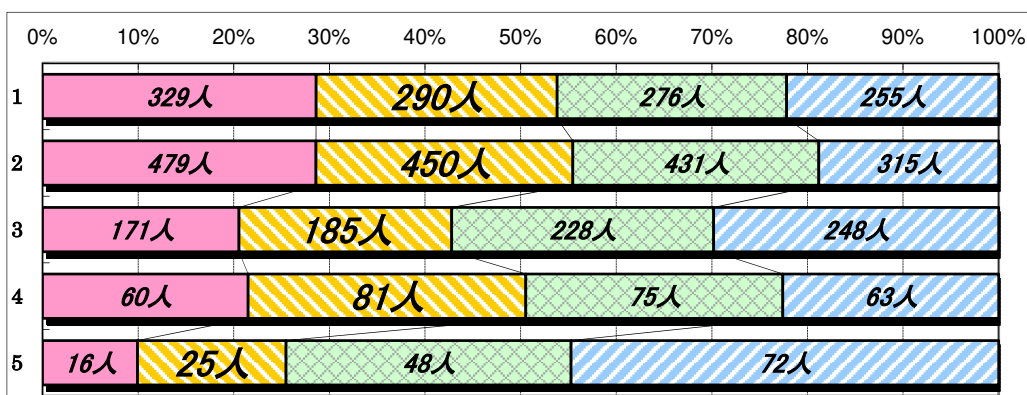
縦軸カテゴリー	グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと
横軸カテゴリー	学力階層 算数・数学

横軸カテゴリー →
縦軸カテゴリー ↓

上位25%
 上位26-50%
 下位26-50%
 下位25%

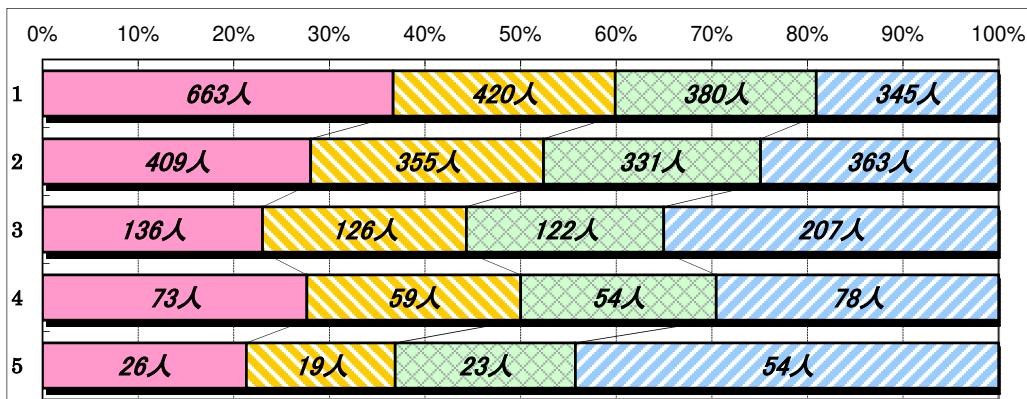
【小学4年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった



【小学6年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった



【中学3年】

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりなかった
- 5 ほとんど、または全くなかった

